

令和元年度

教育委員会事務事業の点検及び評価報告書

令和2年8月  
鹿角市教育委員会

## 「教育委員会事務事業の点検及び評価報告書」 目次

### 教育目標

心豊かで たくましく 郷土を愛し その発展に尽くす市民を育む教育を進める

### I 学校教育の基本方針と重点目標

《担当課 総務学事課》

#### 基本方針

豊かな心と自立する力を身に付けた幼児・児童・生徒を育み、一人一人の個性や能力を伸ばすことのできる学校教育の充実を図る。

#### 重点目標

##### (1) 確かな学力を身に付け、豊かな人間性と社会の中でたくましく生き抜く力の育成

方針・目標	1
成果指標	1
事務・事業の内容	
① 児童生徒学力向上対策事業	1
② みんな生き生き学校サポート事業	1
③ 外国語活動充実事業	1
④ 情報教育環境整備事業	1
⑤ かづの夢創造school事業	2
⑥ 鹿角音楽祭開催事業	2
⑦ フッ化物洗口事業	2
⑧ 学校給食の実施（たらふくかづのの日）	2
⑨ ふるさと・キャリア教育推進事業	2
点検及び評価	2

##### (2) 児童生徒、保護者及び家庭から信頼され、地域コミュニティの核となる学校の創造

方針・目標	3
成果指標	3
事務・事業の内容	
① 学校パワーアップ事業	3
② 校務支援システム構築事業	3
点検及び評価	3

##### (3) 学校・家庭・地域の連携協力による学校教育の向上

方針・目標	3
成果指標	3
事務・事業の内容	
① 学校教育懇談事業	3
② ふるさと生き生きネットワーク事業	4
点検及び評価	4

(4) 学校教育環境の整備・充実による安全性の向上と質の高い教育の実現	
方針・目標	4
成果指標	4
事務・事業の内容	
① 児童生徒派遣事業	4
② 通学対策事業	4
③ 学校施設整備事業	5
④ かづのこもれび教室事業	5
⑤ かづのこもれび相談事業	5
⑥ 奨学資金貸付事業	5
点検及び評価	5

## II 生涯学習推進の基本方針と重点目標

《担当課 生涯学習課》

### 基本方針

市民一人一人が、自己の人格を磨き、心豊かで充実した生活を送ることができるよう、生涯にわたって、いつでも、どこでも学習できる機会を充実し、その成果を生かした、人づくり、地域づくりを目指す。

### 重点目標

#### (1) 生涯学習推進体制の充実と人材育成

方針・目標	6
成果指標	6
事務・事業の内容	
①-1 社会教育関係団体との連携	6
①-2 地域づくり協議会等との連携	6
②-1 みらい輝く人材育成事業	6
②-2 どごさでも出前講座	6
②-3 読書活動の推進	6
③-1 花いっぱい運動	6
点検及び評価	6

#### (2) 子どもたちの育ちと学びを支援する体制の充実

方針・目標	7
成果指標	7
事務・事業の内容	
①-1 地域学校協働活動推進事業	7
②-1 家庭教育推進事業	7
点検及び評価	7

#### (3) 地域特性や各世代に対応した学習と活動の支援

方針・目標	8
成果指標	8
事務・事業の内容	
①-1 成人式の開催	8
①-2 青少年健全育成事業	8
①-3 高校生プログラム「サタプロ」	8
①-4 青年レクリエーション事業	8
①-5 みらい輝く人材育成事業（再掲）	8
②-1 各市民センター事業	8
点検及び評価	8

### Ⅲ スポーツ推進の基本方針と重点目標

《担当課 スポーツ振興課》

#### 基本方針

市民一人一人が、自らスポーツに親しみ、スポーツを通じて心身ともに幸福で豊かな生活を営むことができる社会の実現と、恵まれたスポーツ環境を生かした、活力に満ちた地域社会を目指す。

#### 重点目標

(1) 生涯スポーツの普及推進	
方針・目標	9
成果指標	9
事務・事業の内容	
① チャレンジデーの開催	9
② タートルマラソンの開催	9
③ 総合型地域スポーツクラブの育成	9
点検及び評価	9
(2) スポーツによるまちづくりの推進	
方針・目標	10
成果指標	10
事務・事業の内容	
① スポーツ拠点づくり推進事業	10
② 「スキーのまち」の推進	10
③ 「駅伝のまち」の推進	10
④ はばたけアスリート鹿角コーチング事業	10
点検及び評価	10
(3) 指導体制の確立と指導者の育成	
方針・目標	11
成果指標	11
事務・事業の内容	
① 市民スポーツ活動を支える団体との連携拡充	11
② 指導者の育成と活用	11
点検及び評価	11
(4) スポーツ施設の利用促進と整備	
方針・目標	12
成果指標	12
事務・事業の内容	
① スポーツ施設の利用促進	12
② スポーツ施設の整備・充実	12
点検及び評価	12

#### IV 芸術・文化振興の基本方針と重点目標

《担当課 生涯学習課》

##### 基本方針

市民一人一人が、ふるさと鹿角の優れた文化に親しむ機会を充実するとともに、郷土の貴重な文化遺産の保護・保存と有効活用を図る。

##### 重点目標

<b>(1) 芸術文化活動の推進</b>	
方針・目標	13
成果指標	13
事務・事業の内容	
①-1 文化の杜交流館事業	13
②-1 芸術文化振興事業	13
点検及び評価	13
<b>(2) 文化財の保存・伝承</b>	
方針・目標	14
成果指標	14
事務・事業の内容	
①-1 文化財保存事業（補助事業）	14
①-2 古文書整理	14
①-3 市指定文化財	14
②-1 歴史民俗資料館事業	14
②-2 先人顕彰館事業	14
③-1 後継者育成	14
点検及び評価	14
<b>(3) 世界文化遺産登録の推進</b>	
方針・目標	15
成果指標	15
事務・事業の内容	
①-1 世界遺産登録推進事業	15
①-2 大湯環状列石魅力アップ事業	15
①-3 大湯環状列石史跡管理	15
①-4 大湯ストーンサークル館	15
点検及び評価	15

##### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抄)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。)を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

# I 学校教育の基本方針と重点目標

## 1 基本方針

豊かな心と自立する力を身に付けた幼児・児童・生徒を育み、一人一人の個性や能力を伸ばすことのできる学校教育の充実を図る。

## 2 重点目標

### (1) 確かな学力を身に付け、豊かな人間性と社会の中でたくましく生き抜く力の育成

方針・目標	<p>①確かな学力の育成          ②豊かな心の育成          ③健やかな身体の育成          ④社会の中で生きる力の育成</p>
成果指標	<p>全国学力・学習状況調査における全県平均正答率との比較（小学6年）          （前年） 98 （実績） 95 （R2目標） 103          全国学力・学習状況調査における全県平均正答率との比較（中学3年）          （前年） 95 （実績） 102 （R2目標） 103          将来の夢や目標をもっている割合（小学4～6年）          （前年） 92.0% （実績） 87.1% （R2目標） 92.0%          将来の夢や目標をもっている割合（中学1～2年）          （前年） 79.2% （実績） 79.0% （R2目標） 80.0%</p>
事務・事業の内容	<p>①児童生徒学力向上対策事業          知能検査 中学1年生 240人          学力検査 小学校4～6年生 693人                        中学校全学年 705人          Q-U検査 小学校5～6年生 464人                        中学校1～2年生 471人</p> <p>②みんな生き生き学校サポート事業          学校生活サポーター配置 小学校7校 14人          学習支援サポーター配置 中学校5校 3人</p> <p>③外国語活動充実事業          ALT（外国語指導助手）配置 3人          学校訪問              小学校 授業時数 1,185時間 配置時数 1,128時間（配置割合 95%）              中学校 授業時数 3,360時間 配置時数 612時間（配置割合 18%）              サタデーイングリッシュ 10回開催（2地区3回、2地区2回） 48人参加</p> <p>④情報教育環境整備事業          電子黒板配置（中学校5校）          （電子黒板、タブレット、デジタル教科書（国語、社会、理科））</p>

	<p>⑤かづの夢創造 school 事業  J F A こころのプロジェクト『夢の教室』開催  小学校5年生 220人参加  キャリアアップ講座等を各校で開催  中学校5校 全学年参加 開催総数10回</p> <p>⑥鹿角音楽祭開催事業  11月3日(日)開催  会場：文化の杜交流館コモッセ  出演者：合唱の部 499人 バンドの部 194人  来場者：合唱の部 614人 バンドの部 630人</p> <p>⑦フッ化物洗口事業  実施人数：小学校1,301人(97.3%)  中学校 646人(90.7%)</p> <p>⑧学校給食の実施(たらふくかづのの日)  年5回実施</p> <p>⑨ふるさと・キャリア教育推進事業  ふるさと・キャリア教育コーディネーター配置 1人  夢探究プロジェクト(夢たん)の受入事業所数 167社  職場体験・職場見学 延べ868人参加  地域イベント等へのボランティア 延べ126人参加  連携推進協議会開催 11月14日</p>
点検及び評価	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る                    <input checked="" type="checkbox"/>ほぼ目標どおり                    <input type="checkbox"/>目標をやや下回る</p> <p><input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上対策については、主体的・対話的で深い学びのある授業づくりに向けて、Q-U検査を取り入れた。偏見のない学級集団アセスメントができるようになり、よりよい学習集団づくりと個別支援に活用できた。</li> <li>・外国語活動充実事業では、ALT3人のそれぞれきめ細かな教育活動によって、外国語教育の充実が図られている。また、各学校の創意工夫により、ALTの配置時数の確保や文化交流の充実も図られている。</li> <li>・電子黒板の活用については、小学校5・6年生の社会・理科・外国語において導入が決まった。児童生徒の関心を高め学習の理解を深めることはもちろん、資料を作成する作業時間を減らすことにもつながるものと期待できる。</li> <li>・夢の教室の実施により、夢や目標をもって生活する児童の高い割合の維持につながっている。中学校においては、職場体験や職場見学、キャリアアップ講座等を実施してきたが、地元企業や団体の要望で開催するケースも出てきている。地域のニーズに応えながら、望ましい勤労観や職業観を育む取り組みが求められる。</li> </ul>

(2) 児童生徒、保護者及び家庭から信頼され、地域コミュニティの核となる学校の創造

方針・目標	①特色ある教育の推進 ②信頼される学校づくり ③教職員の資質向上
成果指標	研修会等開催回数 (前年) 3校1団体4回 (実績) 3校1団体4回開催 (目標値) 全校開催
事務・事業の内容	①学校パワーアップ事業 研修会開催 3校1団体 129人参加 ②校務支援システム構築事業 名簿情報、出欠情報、指導要録作成、学校保健総合管理について電子化を図っている。リース期間：令和元年11月1日～令和6年10月31日
点検及び評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る <p>・パワーアップ事業では、完全実施となった道徳科における指導力向上を目的とした模擬授業を含む研修や、プログラミング教育に関わる講話など、貴重な研修機会が設定され、参加者は理解を深めることができた。また、他校教職員を参集範囲としたことにより、多くの教職員が短時間で深まりのある研修を受けることができたことは、この事業の良さであり効率的であると言える。</p>

(3) 学校・家庭・地域の連携協力による学校教育の向上

方針・目標	①学校・家庭・地域の連携 ②学校間の連携と協力 ③地域の人材・素材の活用
成果指標	全国学力学習状況調査児童生徒質問紙 <ul style="list-style-type: none"> <li>・今住んでいる地域の行事に参加している児童の割合 (小学6年生) (前年) 83.0% (実績) 84.9% (目標値) 83.7%</li> <li>・今住んでいる地域の行事に参加している生徒の割合 (中学3年生) (前年) 59.9% (実績) 71.0% (目標値) 62.2%</li> <li>・地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある児童の割合 (小学6年生) (前年) 60.5% (実績) 65.5% (目標値) 73.8%</li> <li>・地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある児童の割合 (中学3年生) (前年) 54.6% (実績) 61.4% (目標値) 60.8%</li> </ul>
事務・事業の内容	①学校教育懇談事業 学校教育懇談会 12月10日 協議：①新学習指導要領で本格実施される「外国語」と「プログラミング教育」の内容について ②新鹿角市学校教育振興基本計画策定の進捗状況について (10年後の鹿角市の教育に関するアンケート結果の報告)



	<p>②ふるさと生き生きネットワーク事業</p> <p>小中学校各校で、活動テーマ・内容を定め、地域のニーズに応えながら、地域素材を活用した特色ある取り組みが行われた。</p>
点検及び評価	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る                    <input checked="" type="checkbox"/>ほぼ目標どおり                    <input type="checkbox"/>目標をやや下回る</p> <p><input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る</p> <p>・学校教育懇談会では、地域代表者、PTA 関係者、保育園・学校関係者が、新たに始まる教育内容に対して、グループ協議を通して理解を深めた。</p> <p>・ふるさと生き生きネットワーク事業の実施により、身近であり貴重な素材でもある地域の人材や歴史・文化に触れながら学習することで、実感を伴いながらふるさと鹿角に対する理解を深めることができている。</p>

#### (4) 学校教育環境の整備・充実による安全性の向上と質の高い教育の実現

方針・目標	<p>①教育環境の充実</p> <p>②施設・設備の充実</p> <p>③一人一人を生かす教育の充実</p>
成果指標	<p>小中学校の再編</p> <p>(実績) 学校再編協議会 3 団体設立 (平成 28 年度～)</p> <p>(目標値) H31 年 4 月統合 末広・十和田小学校、草木・大湯小学校</p> <p>R 2 年 4 月統合 花輪第一・花輪第二中学校</p> <p>R 3 年 4 月統合 花輪北・平元小学校</p>
事務・事業の内容	<p>①児童生徒派遣事業</p> <p>小学校：陸上大会、スキー大会、全県理科研究大会、全県席書大会、アンサンブルコンテスト県大会出場者に対する費用補助</p> <p>中学校：全県大会、東北大会、全国大会出場者に対する費用補助</p> <p>②通学対策事業</p> <p>通学路合同点検の実施</p> <p>8 月 1 日～2 日 小中学校通学路 (改善・要望箇所) 35 ヲ所</p> <p>小中学校通学路 (危険ブロック塀) 5 ヲ所</p> <p>学校統合に係る点検 (花輪地区) 2 ヲ所</p> <p>12 月 23 日 鹿角市通学路安全推進会議開催</p> <p>スクールバス・タクシー利用</p> <p>小学校 遠距離 4 校 100 人 準遠距離 1 校 38 人</p> <p>中学校 遠距離 2 校 31 人 準遠距離 2 校 44 人</p> <p>通学対策費補助金 (路線バス定期券購入費補助) 受給者</p> <p>小学校 遠距離 3 校 28 人 準遠距離 5 校 34 人</p> <p>中学校 遠距離 2 校 3 人 準遠距離 3 校 13 人</p>

	<p>③学校施設整備事業（花輪第一中学校大規模改造工事）</p> <p>建設工事（建築主体工事）（株）小板橋建設（H30.6.27～R1.10.31）</p> <p>建設工事（機械設備工事）（株）カンザイ（H30.6.27～R1.10.31）</p> <p>建設工事（電気設備工事）（有）奥村電気工事（H30.6.8～R1.10.31）</p> <p>④かづのこもれび教室事業</p> <p>入級申請 7人</p> <p>⑤かづのこもれび相談事業</p> <p>対象：不登校傾向の中学生 39人と小学生 7人</p> <p>相談件数（延べ件数）：来所 73件、電話 483件、訪問 2件 （合計）558件</p> <p>専門員による相談件数：カウンセリング 40件、心理判定・報告 38件</p> <p>⑥奨学資金貸付事業</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>貸付実績</td> <td>高校～高専前期 3年</td> <td>10,000円</td> <td>2人</td> <td>240,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高専後期 2年～大学</td> <td>30,000円</td> <td>48人</td> <td>17,280,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>（合計）50人</td> <td>17,520,000円</td> </tr> </table>	貸付実績	高校～高専前期 3年	10,000円	2人	240,000円		高専後期 2年～大学	30,000円	48人	17,280,000円				（合計）50人	17,520,000円
貸付実績	高校～高専前期 3年	10,000円	2人	240,000円												
	高専後期 2年～大学	30,000円	48人	17,280,000円												
			（合計）50人	17,520,000円												
点検及び評価	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る                    <input checked="" type="checkbox"/>ほぼ目標どおり                    <input type="checkbox"/>目標をやや下回る</p> <p><input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通学路合同点検については、改善要望のある通学路に加え、統合により新たに通学路となる市道についても点検を行った。また、県の通学路安全推進事業を活用したことで、国土交通省や県保健体育課の通学路安全アドバイザーも点検に参加し、貴重な助言を受けることができた。</li> <li>・多様な要因を背景とした長期欠席及び不登校傾向の児童生徒には、安心できる居場所を提供し、学校復帰に向けた足がかりとなる個別の学習指導や体験活動を行うこもれび教室が重要な役割を果たしている。</li> <li>・不登校傾向の児童生徒の状況を学校や保護者から継続的に聞き取ったことを基にし、臨床心理士による心理検査や関係機関との連携につなげることができているため、今後も個々の児童生徒の状況に応じたきめ細やかな支援を続ける必要がある。</li> </ul>															

## II 生涯学習推進の基本方針と重点目標

### 1 基本方針

市民一人一人が、自己の人格を磨き、心豊かで充実した生活を送ることができるよう、生涯にわたって、いつでも、どこでも学習できる機会を充実し、その成果を生かした、人づくり、地域づくりを目指す。

### 2 重点目標

#### (1) 生涯学習推進体制の充実と人材育成

方針・目標	①生涯学習推進体制の充実 ②生涯学習機会の充実と人材育成 ③地域づくり活動の推進
成果指標	生涯学習・社会教育講座参加者数 (前年) 14,088人 (実績) 15,774人 (R2目標) 22,000人 図書館の貸出数 (前年) 120,863冊 (実績) 123,583冊 (R2目標) 130,000冊
事務・事業の内容	①-1 社会教育委員 10人、生涯学習奨励員 15人、図書館協議会委員 8人の配置 ①-2 各地域づくり協議会の総会、運営協議会への出席 ②-1 みらい輝く人材育成事業 ・鹿角GENKIカレッジ 講座 7回 参加者 117人 塾生座談会 1回 塾生登録 26人 ・みらい輝く人材育成事業補助金 1件 ②-2 どごさデモ出前講座 42メニュー 開催数 152件 参加者 4,205人 ②-3 読書活動の推進 ・花輪図書館 利用者 90,885人 貸出数 76,739冊 ・十和田図書館 利用者 18,685人 貸出数 26,660冊 ・移動図書館 利用者 6,460人 貸出数 20,184冊 ③-1 花いっぱい運動 ・参加 66団体(花の種子、球根の配布、花苗の幹旋) ・全県花だんコンクール参加 6団体
点検及び評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る ・みらい輝く人材育成事業は、鹿角GENKIカレッジの塾生となる20歳から40歳までの参加者が少ない。参加者からの評価は良いが参加者数が少ないため高校生に働きかけるなど周知を図る必要がある。 ・どごさでも出前講座は、昨年に比べ開講数、受講者数とも増加した。学校や事業所、市民センター事業など受講者人数の多い学習会からの要請増加によるものと思われる。例年通り高齢者や健康に関連するメニューの人気の高いが、鳥獣被害防止についても関心が高くなっている。 ・図書館の入館者数は減少したが、市図書館と学校図書館の連携強化によるセット貸出や、長期休業中のセット貸出、市民が集まるイベント会場や学校への移動図書館車の配車などにより、昨年度より貸出数は増えている。また図書館への参考調査(レファレンス)件数は昨年と比較すると増加している。

(2) 子どもたちの育ちと学びを支援する体制の充実

方針・目標	①地域教育力の向上 ②家庭教育支援体制の充実
成果指標	地域ボランティア活動への参加人数 (前年) 1,724人 (実績) 1,556人 (R2目標) 2,500人 学習機会・事業の提供数 (前年) 5事業 (実績) 5事業 (R2目標) 4事業
事務・事業の内容	①-1 地域学校協働活動推進事業 ・地域学校協働本部の設置 (中学校区毎 花輪、十和田、八幡平、尾去沢) ・統括コーディネーター 1人、地域コーディネーター 8人の配置 ・学校支援ボランティア活動 参加者 1,059人 ・高校生ボランティアによる社会参画 参加者 497人 ・わくわく土曜教室 (小学生を対象に実施) サたちびっ (花輪市民センター) 3回 参加者 51人 チャレンジ・THE・スポーツ (児童センター) 3回 参加者 43人 トワダックのわくわく土曜教室 (十和田図書館) 4回 参加者 66人 放課後チャレンジ広場 (八幡平市民センター) 15回 参加者 648人 特別講座2020KAZUNOロボリンピック 3回 参加者 35人 ・かづの未来塾 (小中学生を対象に実施) かづの未来塾 (夏期) 10回 参加者 83人 かづの未来塾～冬の陣～ 8回 参加者 141人 ・子ども対象事業年間スケジュール表「ばらえてい いんふお」の発行 ②-1 家庭教育推進事業 ・就学児健診時子育て講座の開催 市内全小学校 201人 ・保護者向け家庭教育講座 小学校 2校、中学校 5校 361人
点検及び評価	□目標を上回る                      ■ほぼ目標どおり                      □目標をやや下回る □目標を大幅に下回る ・地域学校協働活動推進事業は、活動への理解者・協力者を増やすため、広報活動を充実させる必要がある。また、学校間で取組に差があり教職員の意識にも差がある。活動が盛んな学校の事例を紹介するなど働き方改革につながること等のメリットをPRしていきたい。 ・家庭教育推進事業は、学校から要望のあった「読書推進」と「思春期の子どもと保護者の関わり」についての講座を開催し好評を得た。内容を学校と協議しながら開催できたことが参加者の満足度の高さにつながったと考えていることから、今後も地域のニーズを踏まえた講座を展開したい。

(3) 地域特性や各世代に対応した学習と活動の支援

方針・目標	①青少年健全育成の推進 ②多様な生涯学習活動の支援
成果指標	世代間等交流事業数 (前年) 33 事業 (実績) 33 事業 (R2 目標) 35 事業 地域活動への参加人数 (前年) 348 人 (実績) 386 人 (R2 目標) 300 人 地域活性化活動団体数 (補助事業活用団体) (前年) 0 団体 (実績) 1 団体 (R2 目標) 4 団体 老壮大学等登録者数 (前年) 1,696 人 (実績) 1,524 人 (R2 目標) 2,500 人
事務・事業の内容	①-1 成人式の開催 対象者 H10.4.2~H11.4.1 生 302 人 参加者 233 人 参加率 76.6% ①-2 青少年健全育成事業 ・声かけ運動の実施 (毎月 5 日) ・青少年育成鹿角市民会議 青少年を育てる市民のつどい ①-3 高校生プログラム「サタプロ」(花輪市民センター) ・高校生が企画した事業を実施 企画・打合せ等 10 回 参加者 118 人 内容: 冬のロッジコンサート (水晶山スキー場) 参加者 58 人 ①-4 青年レクリエーション事業 (八幡平市民センター) ・バドミントン大会 2 回 参加者 33 人 ①-5 みらい輝く人材育成事業 (再掲) ・鹿角 GENKI カレッジ 講座 7 回 参加者 117 人 塾生座談会 1 回 塾生登録 26 人 ・みらい輝く人材育成事業補助金 1 件 ②-1 各市民センター事業 ・老壮大学等登録者数 1,524 人 ・登録団体数 262 団体 (花輪 107、十和田 97、尾去沢 25、八幡平 33)
点検及び評価	□目標を上回る                      ■ほぼ目標どおり                      □目標をやや下回る □目標を大幅に下回る ・成人式は、成人式実行委員会による運営方式であるが、人口減少や都市部への流出が進むことで、運営委員の担い手が年々減少傾向にあり、参加者についても同様である。参加しやすい時期や、式典内容の充実により、参加率向上を目指したい。また、2022 年の成人年齢の引き下げに向け、対象となる高校生にアンケート調査を実施しながら式典の開催方法を検討する。 ・青少年健全育成事業は、活動主体となる市民会議において、個人会員の高齢化による脱退も目立ち、企業会員も少ない。企業訪問活動や啓発運動など、新規会員募集方法を見直しながら、個人・企業会員を増やす取り組みを支援していきたい。 ・各市民センターでは、それぞれの世代に向けた事業が展開されており、団体活動などの自主的な活動も活発に行われている。

### Ⅲ スポーツ推進の基本方針と重点目標

#### 1 基本方針

市民一人一人が、自らスポーツに親しみ、スポーツを通じて心身ともに幸福で豊かな生活を営むことができる社会の実現と、恵まれたスポーツ環境を生かした、活力に満ちた地域社会を目指す。

#### 2 重点目標

##### (1) 生涯スポーツの普及推進

方針・目標	①生涯スポーツの充実 ②スポーツによる健康づくりの推進 ③スポーツボランティアの育成と活用
成果指標	週1回以上、運動やスポーツに親しんでいる市民の割合 (前年) 50.9% (実績) 50.3% (R2 目標) 60%
事務・事業の内容	①チャレンジデーの開催 参加者 70.1%   参加者 21,745人   対戦相手の大分県杵築市 (74.6%) ②タートルマラソンの開催 参加者 201人   (5km : 13人   3km : 76人   1km : 112人) ③総合型地域スポーツクラブの育成 市内で3つのクラブが活動しており、地域住民を対象に子どもから高齢者まで、それぞれの志向やレベルに合わせたスポーツ教室などを実施
点検及び評価	□目標を上回る                      ■ほぼ目標どおり                      □目標をやや下回る □目標を大幅に下回る ・気軽に参加できるスポーツイベントとして定着してきたチャレンジデーは、7回目を迎え、目標に掲げている参加率70%を4年連続超えたものの、対戦市に勝利することはできなかった。 ・幅広い年代が参加できるタートルマラソンは、健康づくりの一翼を担う大会として世代間交流が図られた。 ・総合型地域スポーツクラブの育成では、ウォーキング事業に補助しているが、参加者数は減少したものの、継続的な取り組みが実施されている。

(2) スポーツによるまちづくりの推進

方針・目標	<p>①「スキーのまち」の推進</p> <p>②「駅伝のまち」の推進</p> <p>③スポーツ拠点づくりの推進</p> <p>④子供たちの夢と希望を育むスポーツ環境の充実</p>
成果指標	<p>スポーツ合宿奨励補助金利用人数  (前年) 2,787人泊 (実績) 3,292人泊 (R2目標) 3,600人泊</p> <p>共通シーズン券購入補助制度利用人数  (前年) 78人 (実績) 76人 (R2目標) 80人</p> <p>浅利純子杯争奪鹿角駅伝、十八駅伝エントリーチーム数  (前年) 78チーム (実績) 76チーム (R2目標) 120チーム</p>
事務・事業の内容	<p>①スポーツ拠点づくり推進事業</p> <p>サマーノルディックスキー大会 参加者数 252人</p> <p>スポーツ合宿奨励補助事業 申請団体 62団体 交付人数 852人</p> <p>②「スキーのまち」の推進</p> <p>全国ローラースキー選手権大会 参加者数 310人</p> <p>岩泉杯松橋杯争奪少年ジャンプ大会 参加者数 25人</p> <p>ジュニアスキーヤー共通シーズン券発行 発行人数 76人</p> <p>③「駅伝のまち」の推進</p> <p>十和田八幡平駅伝競走全国大会 参加チーム数 23チーム</p> <p>浅利純子杯争奪鹿角駅伝 参加チーム数 53チーム</p> <p>④はばたけアスリート鹿角コーチング事業</p> <p>陸上ジュニアクリニック 参加者数 59人</p> <p>ローラースキージュニアクリニック 参加者数 43人</p> <p>楽天野球教室 参加者数 56人</p> <p>ジュニアスキーヤー(スキー授業)指導者派遣事業  小学校 6校、中学校 1校 延べ13回 120人</p> <p>特別講師派遣事業 比内支援学校、ハニーハイム、野球スポ少、恩徳寺</p>
点検及び評価	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る                    <input checked="" type="checkbox"/>ほぼ目標どおり                    <input type="checkbox"/>目標をやや下回る</p> <p><input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る</p> <p>・スポーツ合宿奨励補助事業については、補助額及び交付対象の一部改正による利便性を図ったことにより、利用者数の増加につながり、交流人口の拡大及び地域の活性化が図られた。</p> <p>・浅利純子杯争奪鹿角駅伝は、13回目となり他県大会日と重なるなど、参加チームの減少が見られたが、参加資格を拡大し合同チームを認めるなど、チーム数は横這いに推移している。</p> <p>・十八駅伝については、男子17チームに加え、女子の部5チームの参加を得て実施した。夏の恒例イベントとして、トップ選手の走りを間近で観戦することができ、地域の活性化と競技力の向上が図られた。</p>

### (3) 指導体制の確立と指導者の育成

方針・目標	①スポーツ団体の組織強化と活動の充実 ②指導者の育成と活用
成果指標	市体育協会の構成員数 (前年) 6,365人 (実績) 6,283人 (R2目標) 3,400人 ジュニアクリニック受講者の大会参加者数 (前年) 144人 (実績) 158人 (R2目標) 100人 特別講師派遣事業・楽天野球教室開催回数 (前年) 9回 (実績) 6回 (R2目標) 15回
事務・事業の内容	①市民スポーツ活動を支える団体との連携拡充 体育協会は、記念スポーツセンター、城山・毛馬内野球場の指定管理者となっているほか、委託事業を行い、効率的で安全な施設の管理を行っている。 ②指導者の育成と活用 スポーツ少年団社会体育化となり4年目となるが、日体協公認のスポーツ少年団認定員資格の取得に対する補助制度を継続することで、資格取得者の増加が図られ、指導者が確保されている。
点検及び評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る ・体育協会の自立支援については、現在のところ補助金及び指定管理料により運営されている状態にあるが、団体の性質上、自主事業による自立が難しいことから、引き続き支援していかねばならない。 ・指導者については、子供の加入に伴い認定員の資格を取得し、卒業と同時に退団になりがちであるが、継続して少年団やスポ少本部に登録してもらえるように体育協会及びスポ少本部と協力していく必要がある。



(4) スポーツ施設の利用促進と整備

方針・目標	①スポーツ施設の利用促進 ②スポーツ施設の整備・充実
成果指標	スポーツ施設の利用者数 (前年) 195,003人 (実績) 170,301人 (R2目標) 280,000人
事務・事業の内容	①スポーツ施設の利用促進 市営野球場 城山、毛馬内 (4/10～11/10)      利用者数 6,497人 市民プール 花輪、谷内 (7/13～8/25)      利用者数 11,957人 東山スポーツレクリエーションエリア      利用者数 79,688人 アメニティパーク      利用者数 30,692人 記念スポーツセンター      利用者数 31,902人 水晶山スキー場      利用者数 8,421人 市立ゲートボール場      利用者数 485人 大湯相撲場      利用者数 659人  ②スポーツ施設の整備・充実 アルパス浄化槽機器取替修繕 花輪スキー場ゲレンデ側水道管漏水修繕 花輪市民プールウォータースライダー修繕 鹿角市記念スポーツセンターの真空暖房ポンプ修繕 花輪スキー場ジャンプ台スロープカー修繕 花輪スキー場ゲレンデ照明補修工事 花輪市民プール塗装改修工事 城山野球場内野改修工事 花輪スキー場第3リフト終点停留場改修工事
点検及び評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る  ・施設の利用については、花輪市民プールの塗装や城山野球場の内野改修、花輪スキー場のリフト停留場の改修などを行い利便性の確保に努めたが、雪不足に加えて新型コロナウイルス感染症のため、利用者数が減少しているとみられる。

## IV 芸術・文化振興の基本方針と重点目標

### 1 基本方針

市民一人一人が、ふるさと鹿角の優れた文化に親しむ機会を充実するとともに、郷土の貴重な文化遺産の保護・保存と有効活用を図る。

### 2 重点目標

#### (1) 芸術文化活動の推進

方針・目標	①芸術文化鑑賞機会の充実 ②芸術文化活動の振興
成果指標	年間で芸術鑑賞に親しんだ割合 (前年) 34.9% (実績) 41.0% (R2 目標) 30%
事務・事業の内容	<p>①-1 文化の杜交流館事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体入館者数 317,568 人 (H30 : 334,103 人、計画 200,000 人)</li> <li>・文化ホール事業 (自主事業) 7 回 入場者 3,239 人</li> </ul> <p>鹿角市民俗芸能フェスティバル</p> <p>テ ー マ : 「風流 秋田の盆踊り」</p> <p>出 演 : 毛馬内の盆踊 (十和田)、花輪の町踊り (花輪)</p> <p>特別出演 : 西馬音内盆踊 (羽後町)、一日市盆踊 (八郎潟町)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民サポーター企画事業 3 回 入場者 852 人</li> <li>・館連携事業 コモデコ (季節デコレーション) 4 回</li> </ul> <p>②-1 芸術文化振興事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 48 回鹿角市かるた選手権大会 参加者 67 人</li> <li>・子ども会対抗かるた大会 (自治会対抗) 12 チーム 参加者 220 人</li> </ul>
点検及び評価	<p>■ 目標を上回る                      □ ほぼ目標どおり                      □ 目標をやや下回る</p> <p>□ 目標を大幅に下回る</p> <p>・文化の杜交流館コモッセは、目標を大きく上回る 30 万人を超える入館者数があり、高い水準を維持している。利用状況については自主事業や市民によるサポーター企画事業など、まちなか連携やこもれば広場の活用により、多世代から利用されている。</p> <p>・鹿角市かるた選手権大会は、参加者が昨年より減少したが、市内外からの参加があるほか、市内のかるた同好会の指導により保育園でのかるたを奨励している。</p>

(2) 文化財の保存・伝承

方針・目標	①文化財の調査・保存 ②文化財の活用 ③民俗芸能の保存・伝承
成果指標	学習機会・事業の提供数 (前年) 31 講座 (実績) 32 講座 (R2 目標) 31 講座
事務・事業の内容	①-1 文化財保存事業 (補助事業) ・声良鶏保存奨励金 (謡合大会、羽色体形大会) ・大日堂舞楽保存伝承事業費補助金 ・花輪祭の屋台行事保存修理事業費補助金 (大町) ①-2 古文書整理 ・古文書整理委員会 2 回 ・歴史講座「古文書からたどる かづのの酒づくり」 参加者 60 人 ①-3 市指定文化財 新規 2 件 ・花輪通絵図 (歴史資料) ・錦木古川大太鼓 (無形民俗文化財) ②-1 歴史民俗資料館事業 ・入館者数 1,619 人 (H30:1,984 人) ・常設展示:「鉾山を支えた商業の町 花輪」 ・企画展、特別展 4 回 1,085 人 ・講座、講演 7 回 126 人 ・鹿角花輪駅前広場整備工事に伴い、声良鶏銅像移設 ②-2 先人顕彰館事業 ・入館者数 1,486 人 (H30:1,762 人) ・特別企画展 「真澄研究者 内田武志・ハチ兄妹とゆかりの人々」 「菅江真澄の歩いた鹿角」 ・「鹿角人物事典」発行 鹿角の先人 474 人収録 ③-1 後継者育成 ・指定無形民俗文化財団体との情報交換会 参加 15 団体 (全 20 団体) ・花輪の町踊り 15 種を継承 16 回 参加者 761 人 ・毛馬内の盆踊り 着付け講習会 参加者 464 人 ・八幡平盆踊り伝承 太鼓、踊り、唄の講習会 参加者 488 人
点検及び評価	□目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり □目標をやや下回る □目標を大幅に下回る ・文化財の保存伝承では、市内の指定無形民俗文化財団体との情報交換会を行った。後継者育成が課題であり、参加者確保のため開催日の変更も検討する必要があるとの意見がだされた。 ・歴史民俗資料館は、声良鶏銅像の移設とともに、彫像者も含めた特別展の企画などを通じて施設の魅力向上が図られた。 ・先人顕彰館事業は、江戸期から平成期における本市の先人の研究成果を事典にまとめ、先人の残した事績を知る貴重な資料として整備した。

### (3) 世界文化遺産登録の推進

方針・目標	①大湯環状列石の世界文化遺産登録の推進
成果指標	<p>特別史跡大湯環状列石の世界文化遺産登録</p> <p>(実績) 世界文化遺産推薦候補選定、ユネスコへの国内推薦決定</p> <p>毛馬内の盆踊 ユネスコ無形文化遺産への国内推薦決定</p>
事務・事業の内容	<p>①-1 世界遺産登録推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産登録推進 世界文化遺産推薦候補選定 (7月) ユネスコ国内推薦決定 (12月)</li> <li>・世界遺産登録推進シンポジウム開催 参加者 250人</li> </ul> <p>①-2 大湯環状列石魅力アップ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親子体験学習等 5回 参加者 64人</li> <li>・市民ボランティア団体「大湯SCの会」設立</li> </ul> <p>①-3 大湯環状列石史跡管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡内熊目撃により一時見学中止、再開 (7月)</li> </ul> <p>①-4 大湯ストーンサークル館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入館者数 19,207人 (H30:16,515人)</li> <li>・館内フリーWi-Fi設置</li> </ul> <p>※ユネスコ無形文化遺産</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毛馬内の盆踊を含む全国37件の重要無形民俗文化財で構成する「風流踊」が国内推薦決定 (2月)</li> </ul>
点検及び評価	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る                    <input checked="" type="checkbox"/>ほぼ目標どおり                    <input type="checkbox"/>目標をやや下回る</p> <p><input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る</p> <p>・世界文化遺産登録は、念願のユネスコへの国内推薦が決定された。今後は2021年の登録実現に向けて、構成自治体との一層の連携により取り組みを進める。</p> <p>・受け入れ体制の整備は、史跡周辺での熊出没があったが、電気柵の点検、定期的な見回りを行い再開した。また、市民ボランティア団体が新たに設置され、史跡ガイドを行うなど体制が整備された。国内推薦決定に伴い、入館者数が増加している。</p> <p>・毛馬内の盆踊は、昨年の全国組織の立ち上げから順調に進み、ユネスコ無形文化遺産への国内推薦が決定した。今後は、2022年の登録実現に向けて、構成自治体との連携により取り組みを進める。</p>

## 教育委員会事務事業点検評価〈概要〉

**(根拠法令)**

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 26 条の規定による

**(実施要綱)**

鹿角市教育委員会事務事業点検評価実施要綱（平成 26 年 1 月 6 日教育委員会訓令第 1 号）による

**(点検評価の対象)**

令和元年度に教育委員会が実施した事務事業

**(点検評価の実施日)**

令和 2 年 6 月 25 日（木）

**(点検評価委員) ※五十音順**

阿部 義弘 委員

石井 勲 委員

岩館 裕章 委員

田口 将 委員

**(点検評価の結果)**

・教育委員会事務局職員による内部評価

項 目	目標を上回る	ほぼ目標どおり	目標をやや下回る	目標を大幅に下回る
<b>I 学校教育の重点目標</b>				
(1) 確かな学力を身に付け、豊かな人間性と社会の中でたくましく生き抜く力の育成	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(2) 児童生徒、保護者及び家庭から信頼され、地域コミュニティの核となる学校の創造	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(3) 学校・家庭・地域の連携協力による学校教育の向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(4) 学校教育環境の整備・充実による安全性の向上と質の高い教育の実現	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>II 生涯学習推進の重点目標</b>				
(1) 生涯学習推進体制の充実と人材育成	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(2) 子どもたちの育ちと学びを支援する体制の充実	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(3) 地域特性や各世代に対応した学習と活動の支援	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>III スポーツ推進の重点目標</b>				
(1) 生涯スポーツの普及推進	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(2) スポーツによるまちづくりの推進	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(3) 指導体制の確立と指導者の育成	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(4) スポーツ施設の利用促進と整備	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>IV 芸術・文化振興の重点目標</b>				
(1) 芸術文化活動の推進	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(2) 文化財の保存・伝承	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(3) 世界文化遺産登録の推進	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
合 計	1	13	0	0

・点検評価委員による外部評価 . . . 「内部評価を承認」

点検評価委員よりいただいたご意見は次のとおりです。

点検評価の結果並びに委員の意見等を踏まえ、より一層効果的に成果が得られるよう創意工夫を凝らしながら事務事業を展開してまいります。

## I 学校教育の重点目標

### (1) 確かな学力を身に付け、豊かな人間性と社会の中でたくましく生き抜く力の育成

#### ①児童生徒学力向上対策事業

【ご意見】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力・学習状況調査における中学校3年生の平均正答率の全県比較102は素晴らしいと思う。この実績の分析が今後の教育委員会の施策や学校現場での取り組みの参考になっていくことを願う。</li> <li>・Q-U検査導入など、よりよい学習集団づくりと個別支援が、確かな学力の向上の土台になると思う。息の長い取り組みになってほしい。</li> </ul>
【ご意見 に対し】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・102の成績を残した学年は、小学校6年での調査においても県平均を上回っており、順調に学習内容を身に付けてきたことが分かる。また、質問紙調査においても、自己肯定感が高い数値を示している。</li> <li>・Q-U検査を行うことの大きな利点として、学級や個別の児童生徒の課題を複数の教員で共有することができることにある。さらに活用を図るために、研修の機会を計画している。</li> </ul>

#### ②みんな生き生き学校サポート事業

【ご意見】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員配置とともに、まわりの児童たちへの教育をより進める。障害の捉え方を「個人モデル」から「社会モデル」へとしっかり教える。「何ができない」から「何ができる」に視点を変える。「誰ひとり取り残さない」という意識など、小さい時から学ぶべきものと思う。</li> </ul>
【ご意見 に対し】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご意見にあるとおりと考えており、サポーターの研修を行っている。</li> </ul>

#### ③外国語活動充実事業

【ご意見】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校の配置割合が18%とあるが、配置すべき時間に対しての割合だとすればかなり低いと思うが。</li> </ul>
【ご意見 に対し】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配置割合の全国平均（H29年度）は21.1%であった。学校数1減により令和2年度は20%程度の配置を見込んでいる。中学校の授業においては特に会話やスピーチの学習を中心にALTを活用している。小・中学校において、外国語の授業のほか、総合の時間への参加や掲示用ポスター等教材の作成等協力を得ている。</li> </ul>

#### ④情報教育環境整備事業

【ご意見】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子黒板やタブレット端末等、電子機器の活用が理科等に拡大されており、今後に期待したいが、実験・観察等の実体験がおろそかにならないよう配慮してほしい。</li> <li>・コロナによる休校で指導のオンライン化が話題になっているが、その実用化と活用について取り組まれたい。</li> <li>・とても良い事業だと思うが、日進月歩の高額なハードやソフトへの対応と、オンライン授業への対応や必要性、逆にアナログな対処法は？</li> </ul>
-------	--

【ご意見 に対し】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器の導入とともに教員研修は必須である。</li> <li>・オンライン授業については、個別対応として1件の事例があり、その必要性も感じているが、全体での実施には課題がある。</li> <li>・アナログな対処について、ICTはツールであり、学校教育の根本は受け継がれていくものとする。ただ、視写など作業的活動は減っていくものと思われるが、このことが児童生徒の発達にどのように影響するかは検証されていない。</li> </ul>
--------------	---

⑥鹿角音楽祭開催事業

【ご意見】	・音楽の祭典として定着してきており、準備等に苦勞も多いと思うが、継続してほしい。
-------	--

⑨ふるさと・キャリア教育推進事業

【ご意見】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職場体験・職場見学、地域イベント等へのボランティアのコーディネートが効果的に行われていると感じる。学校現場の担当者にとっても、事業所やイベント実施者にとってもありがたい支援だと感じている。</li> <li>・地教委として受入体験事業所を確保しているのは、学校ごとバラバラよりは期間や学校合同で実施していくことにつながり、事業所の負担軽減とともに長続きするのではないか。また、事業所からの要望があるなど成果が出てきている。</li> </ul>
【ご意見 に対し】	・深刻な人手不足から、地元企業も本腰を入れて取組を始めており、これをプラスに捉え、事業を継続していきたい。

(2) 児童生徒、保護者及び家庭から信頼され、地域コミュニティの核となる学校の創造

①学校パワーアップ事業

【ご意見】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳科やプログラミング教育の研修機会を設けることは大事にしたい。どうしても地方が遅れていく分野でもあるので、地域格差や教職員間の格差が生じないように目標値目指して取り組まれない。</li> <li>・教職員の方々の指導力が向上するのはとても良いことだが、先生方と話をすると、授業以外に部活動や諸々、特に研究発表等あまりに負担が多いと思う。教員にブラック企業というイメージがついているのが心配。</li> </ul>
【ご意見 に対し】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選択肢のない義務的な研修が多い中、本事業継続の意義は大きく、事業報告からも成果を感じている。</li> <li>・学校はブラック企業という表現があり、多忙化防止計画に準じて対策を講じているところではあるが、教員としての本質的な労働意欲は、教員自身の資質の向上によるものが大きく、そのための研修の機会は確保していきたい。</li> </ul>

②校務支援システム構築事業

【ご意見】	・効率性から負担軽減となるが、人が扱うものなので個人情報や成績管理上の情報管理に細心の注意を払って運用してほしい。
【ご意見 に対し】	・システム上、高いセキュリティが確保されている。

### (3) 学校・家庭・地域の連携協力による学校教育の向上

#### ①学校教育懇談事業

【ご意見】	・行政、学校、保護者、地域住民の共通理解を深める効果はあると思うが、今後の生かし方や広報などを通して成果・効果を求めたい。
【ご意見 に対し】	・昨年度は、「今後の鹿角市の教育に望むこと」というテーマで懇談した。いただいた意見は、鹿角市学校教育振興基本計画の基本方向を決める上で参考になった。市の広報やHP等で、懇談会の様子を紹介できないか検討したい。

#### ②ふるさと生き生きネットワーク事業

【ご意見】	・とても素晴らしい事業だと思うが、自分の子どもが小さい時、他校の行事（農業体験等）をやらせたいと思ったことがある。各校の地域の素材や特色の活用はそのまま、学区内ではなく市内でのふるさと教育にしたらどうか。（花輪の子がメインランドや大沼を案内したり八幡平の子が花輪のまち探検をしたり）
【ご意見 に対し】	・各校における地域に根差した特色ある教育活動を支える事業として、継続を図りたい。学区を越えての活動は、ご意見にあるとおりであり、実際に尾中・八中間では、お互いの活動を見せ合う交流を始めている。時間は限られるが体験活動をシェアリングすることで、教育的効果と費用対効果が期待できるため、事例として紹介していきたい。

### (4) 学校教育環境の整備・充実による安全性の向上と質の高い教育の実現

#### ②通学対策事業

【ご意見】	・通学路点検のあとに花輪一中のクマによる生徒の被害が出たのは残念で仕方がないことだが、その後、伐採し通学できるようになるまでの時間が長すぎた印象がある。
【ご意見 に対し】	・クマによる被害の発生後は早急に通学路を閉鎖するとともに、通学路周辺の樹木伐採によりクマの出没を防ぐ環境の整備を行ったが、伐採する範囲等についての関係機関との協議のほか、伐採が必要な一帯は民有地も含まれていたことから、土地所有者の調査及び関係者への説明や同意を得るのに時間を要したものである。

#### ⑤かづのこもれび相談事業

【ご意見】	・学校再編が進む中、対象となる不登校傾向の中学生が昨年に比べ微増（7人）の一方、相談件数は半減しているが考えられる要因は何か。 ・こもれび教室が重要な役割を果たし時間を要する問題ではあると思うが、学校復帰を果たした例はどのくらいあるのか。
【ご意見 に対し】	・相談件数の減少は、特定の保護者からの入電件数が減ったことと、学校からの相談（聞き取り）の仕方を定期としたことによるものが大きい。また、県の事業で中学校2校に配置されているスクールカウンセラーの活用も要因と考えられる。令和2年度は、さらに減少するものと予想される。不登校傾向の中学生の微増は、一人一人違った原因をもち、一概に対応及び評価できるものではない。こもれび教室入級7人全員が、完全な形ではないにせよ、授業や面談を受けている。交互に学校とこもれび教室に通うケースが多く、生徒にとっては心の充電ができる居場所として活用されていると捉えている。



## II 生涯学習推進の重点目標

### (1) 生涯学習推進体制の充実と人材育成

#### ②-1 みらい輝く人材育成事業

【ご意見】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「鹿角GENKIカレッジ」参加者からの評価が高いということなので内容が充実しているのだと思う。内容に満足している参加者からの青年層への呼びかけの方が効果的だと思うので期待したい。</li> <li>・「学び」を通して地域で活躍する「行動人」の育成を目指す「鹿角GENKIカレッジ」について、参加者が少ないためPR周知を図る必要があると昨年度の報告にもあるが、具体的な働きかけはあったのか。(広報では一度掲載してあるが、HPでは見つけることができなかった。)</li> <li>・昨年度は「みらい輝く人材育成事業」に補助金を拠出しているようだが、具体的にはどのような事業内容なのか。</li> </ul>
【ご意見 に対し】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・塾生対象年齢となる青年層へ事業についてPRするため、生涯学習課のツイッターやフェイスブックを用いてのPRを実施している。また、昨年度は塾生座談会をはじめて開催し、高校生広報室のメンバーや商工会青年部会員と塾生との意見交換を行っている。</li> <li>・みらい輝く人材育成事業補助金は、塾生が主体となってイベント等を実施する場合に補助対象経費の2分の1を助成するものであり、昨年度は塾生3人が主体となって立ち上げた団体が企画実施した、クラウドファンディングの手法を学ぶトークと物販のイベントに対して補助している。</li> </ul>

#### ②-2 どごさでも出前講座

【ご意見】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者が増加したことへの取り組みと努力を評価する。講座の内容を工夫するなど改善が見られる。</li> <li>・地域でも高く評価しているし、ぜひ続けてほしい。</li> </ul>
-------	--

#### ②-3 読書活動の推進

【ご意見】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館の利用も伸びており、良い取り組みをしている。</li> <li>・図書館の企画・運営は評価できるが、新刊図書の実と利用年齢層を分析してターゲットを絞って充実させていってはどうか。利用者数だけでなく、質を充実させる図書館を目指してほしい。</li> <li>・長期休業中や新型コロナでの休校中のセット貸出しなど評価する。</li> <li>・移動図書館の利用増加や移動図書館車の新規購入など今後期待したい。</li> <li>・花輪、十和田という地区のネーミングから「市立図書館あかね」や「市立図書館にしきぎ」などとしてはどうか。</li> </ul>
【ご意見 に対し】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用年齢層は15歳以下と60歳以上が多く、新刊リクエストも利用者数に比例しこの年齢層が多い状況である。図書館では、生涯学習の学びの拠点として、調査研究や時代をとらえた書籍など、多様なニーズに対応することも重要であることから、質の充実を図りながらバランスのよい運営に努めていく。</li> <li>・図書館の名称については、地域を表した分かりやすい名称だと考えている。また、今年度更新予定の移動図書館車については愛称を募集するなど、より親しまれるような運用をしたいと考えている。</li> </ul>

## (2) 子どもたちの育ちと学びを支援する体制の充実

### ①-1 地域学校協働活動推進事業

【ご意見】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に認知されているのか疑問があるので、関係者だけでなく広く市民に広報してほしい。</li> <li>・長期休業中の学習ボランティアによる教室は良い試みである。今後、組織化と内容充実に期待したい。</li> </ul>
【ご意見 に対し】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市HPへの掲載に加え、活動紹介チラシを保護者や市民センター等に配布している。通学時の見守り活動や、学校での民俗芸能の指導、学校行事の際のサポート等、多くの地域の方々から活動に参加いただいているので、一層の周知PRに努めていく。</li> <li>・活動の基盤として設置した、鹿角市地域学校協働本部が中心となり、様々な事業を重層的に実施しながら、内容の充実に努めていく。</li> </ul>

### ②-1 家庭教育推進事業

【ご意見】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意図が見える事業になってきているので、引き続き継続した取り組みをして有効性を求めたい。</li> <li>・子育て講座、家庭教育講座ともに内容が充実してきており、早い時期での学校への紹介・依頼、ニーズの把握等が効果的であった。</li> </ul>
【ご意見 に対し】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の学びたい分野についてアンケート等で把握しつつ、効果的に学んでもらうため、保護者が集まりやすい場で講座を実施できるよう、学校との連絡調整を今後も密にしていく。</li> </ul>

## (3) 地域特性や各世代に対応した学習と活動の支援

### ①-1 成人式の開催

【ご意見】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営委員の担い手が年々減少傾向にあるのならば、開催の主体を新成人ではなく市にしたらどうか。</li> <li>・2022年4月から民法改正により成人年齢が引き下げられることから、成人式のあり方や内容を時間をかけて広く協議していきたい。</li> </ul>
【ご意見 に対し】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年の二十歳の主張など記念行事は、新成人の実行委員が中心となって、自分たちで考えた内容となっている。人員不足には必要なサポートを行いながら、今後も新成人が主体的に行う成人式を目指していく。</li> <li>・今年度中に、2022年度に成人に達する高校生及び今年度の成人式実行委員を対象にアンケート調査を実施する予定であり、アンケートの結果や他市町村の状況を踏まえて今後の方針を決定していく。</li> </ul>

### ②-1 各市民センター事業

【ご意見】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会、子供会とも、地域で子どもを育てるという意識の低下がみられ、市民センターの事業で保たれている感がある。</li> <li>・各講座、事業とも参加者数や男女別の参加率で見ると、効率性、有効性の観点から検証の余地があるのではないかな。</li> <li>・団塊世代の75歳ピークがやってくる2025年問題に向けての学習や健康づくり等の体制づくりと啓発が必要でないか。老壮大学等だけでは受け皿にならず、老人クラブも加入率が低く大きな牽引力になり難い状況でないか。</li> </ul>
-------	--

【ご意見 に対し】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少により、自治会や子供会の維持も難しくなっている地区もあり、市民センターに期待される役割が従前より大きくなってきている。各市民センターでは地域づくり事業にも取り組んでいるので、社会の要請や時代をとらえた講座を実施できるよう、市民センターとの協議を進めていく。</li> <li>・老壮大学や老人クラブは仲間づくりや学びの場を提供する重要な役割を担っている。また、健康づくりについては、市の出前講座でも関連するメニューを提供しながら、自治会やサークルなど利用も多くある。特に、シルバーリハビリ体操については、指導員の育成を図りながら、活動を推進している。</li> </ul>
--------------	--

### Ⅲ スポーツ推進の重点目標

#### (1) 生涯スポーツの普及推進

##### ① チャレンジデーの開催

【ご意見】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チャレンジデーの参加が一過性に終わっているように感じ、結果が日常的な運動につながっていないのではないかと。</li> </ul>
【ご意見 に対し】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チャレンジデーは、日常的なスポーツの習慣化や住民の健康増進、地域の活性化に向けたきっかけづくりを目的とした住民参加型のイベントであるので、関係団体によるイベントや各教室などをきっかけとして、継続した参加につながっているものと考えている。</li> </ul> <p>しかし、市民アンケートの結果では、継続した運動実施率が平成 25 年度以降 50% を超えているものの、年代によっては依然低い数値にあることから、全市的な取り組みとして、継続していきたいと考えている。</p>

##### ③ 総合型地域スポーツクラブの育成

【ご意見】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第 7 次社会教育行政中期計画—生涯スポーツの普及推進 (P20) 現状と課題の中に、「地域住民主体で運営する総合型地域スポーツクラブの設立により、生涯にわたりスポーツに親しむ環境が整いつつある」とあるが、クラブの努力である程度の安定した参加者(会員)を確保し生涯スポーツに大きく貢献してきていると思うが、運営については、受益者負担とはいえ本市の実態は理想とは程遠いものといえる。ウォーキング事業に補助はしているものの実状を把握して継続していけるように具体的な支援(育成策)を考えていく必要があると思う。</li> <li>・ウォーキング事業への助成は評価できるが、抜本的なあり方の改革や支援が必要でないか。</li> </ul>
【ご意見 に対し】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・形態は違うものの、スポーツに親しむ環境は整いつつあるものと認識しているが、確かに理想とするべきところまで至っていない現状にあることから、今後における課題と捉えている。</li> <li>・ウォーキング事業については、市からの委託事業としているが、それぞれの団体が特色のある独自の取り組みを実施することで、安定した参加者が確保されていると思うので、今一度、今後のあり方について検討する時期に来ているものと考えている。</li> </ul>

## (2) スポーツによるまちづくりの推進

### ①スポーツ拠点づくり推進事業

【ご意見】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ合宿奨励補助事業については好評である旨の声が多く聞かれている。</li> <li>・ライフスタイルに応じたスポーツ活動の推進を目指しているが、内容は大会等の事業があげられており、新しい時代や市民の意識の変化に対応した運動の種類や機会のあり方を考える時期ではないか。</li> </ul>
【ご意見 に対し】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は、次期スポーツ推進計画の見直しの時期となっており、国及び県の計画に基づき、これらも含めた見直しを行っていくものとする。</li> </ul>

### ②「スキーのまち」の推進

【ご意見】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国大会が毎年のように行われる地元のスキー人口を増やす取り組みをしてほしい。子どもの頃にもっと滑る時間（スキー授業等）があればいいと思う。ハードルを下げるとのレンタルやリサイクルの活用はとても良いことだと思う。</li> </ul>
【ご意見 に対し】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者や授業時間の確保などに加え、バスの借上げやレンタルスキーの更新など、費用面においても課題は増えてきているが、地域性に特化したスキー授業について、継続した実施ができればと考えている。</li> </ul>

### ③「駅伝のまち」の推進

【ご意見】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京オリンピックのマラソン競技会場が札幌市に変更となったように、走る人の命を考えて日程を秋頃に変更したらどうか。（十八は10月8日とか、浅利さんは9月22日生まれ）</li> <li>・十八駅伝については、競技力の向上が図られたと評価しているが、競技力に関しては地元選手に向けて考えるべきである。むしろ、スキーと駅伝選手強化対策事業の実績を報告に入れ込むべきでないか。</li> </ul>
【ご意見 に対し】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・真夏の駅伝として知られる十八駅伝であり、開催日や曜日について市長への手紙にて意見が寄せられているが、実行委員会においても議題として検討している。 創設の発端が金栗四三氏の提唱であるとされることや、出場チームからのアンケート調査による「暑さや起伏に富んだコース設定により、選手の適性を見極める良い機会になっている」などの意見をいただいていることから、実行委員会においても、これまで同様8月7日に開催することとしている。</li> <li>・駅伝の実績については、残念ながら中学・高校チームとも、チーム編成が難しい状況となっており、実績として競技力の向上が図られたとは言い難い状況だが、個人的に良い成績を残している選手も見受けられたことから、このような表現としている。</li> </ul>

### ①～③について

【ご意見】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒数や競技人口の減少等課題が多い中、各大会への参加者が確保されていることに対し、スポーツ振興課をはじめ鹿角市体育協会、各競技団体等の大会運営関係者の皆様に敬意を表するとともに、協力してくださる学校関係やの皆様へ感謝する。</li> <li>・競技人口の減少という大変難しい課題がある中ではあるが、今後に向けて、「スポーツ振興」と「各種スポーツイベント実施による活性化」のあり方を検討していかなければならないと思う。</li> </ul>
【ご意見 に対し】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・競技人口の減少により、開催する大会での役員不足等も懸念材料となっているが、開催による地域への経済波及効果も図られていることから、継続した開催も必要となるが10回を超える大会については、見直しをする時期に来ているものと認識している。</li> </ul>

### (3) 指導体制の確立と指導者の育成

#### ②指導者の育成と活用（スポーツ少年団）

【ご意見】	<ul style="list-style-type: none"><li>・スポーツ少年団の認定員は日本スポーツ少年団資格である。</li><li>・資格制度の改定により、日本スポ少→日本スポーツ協会資格に移行有資格者（指導者）が本部登録するのは本来の姿ではない。</li><li>・今後のスポ少活動に大きく影響することが考えられる資格制度の改定である。</li></ul>
【ご意見 に対し】	<ul style="list-style-type: none"><li>・令和2年度に新制度に移行するが、有資格指導者の養成にあたっては、スポーツ少年団の理念を学習し、指導者全員が有資格者となることや可能な限り日本体育協会公認スポーツ指導者制度との一体性を担保することなど、制約が多くなり費用も増額されるが、指導者確保のため、引き続き資格取得に対して助成を続けていくものとする。</li></ul>

### (4) スポーツ施設の利用促進と整備

#### ②スポーツ施設の整備・充実

【ご意見】	<ul style="list-style-type: none"><li>・鹿角市記念スポーツセンター（バスケットリング及びスピーカーを吊ってあるワイヤーの老朽化、アリーナの床板等）、城山球場（雨漏り）や毛馬内球場（土砂崩れ）等、予算の問題もあるが、計画的な修繕をお願いする。</li><li>・施設の将来のあり方を考えたうえで年次計画を示すべきであると思う。</li><li>・市立ゲートボール場の必要性和有効性の検証と、競技人口からみてグラウンドゴルフ場整備の余地はないのか。</li></ul>
【ご意見 に対し】	<ul style="list-style-type: none"><li>・施設の修繕等については、老朽化による修繕や改修が必要な施設が多くなっており、緊急的な修繕や多額の費用を要する修繕等も発生していることから、計画どおりに行かない部分もあるが、長寿命化計画等を策定し、計画的で効率的な修繕を行っていかねばならないと考えている。</li><li>・市立ゲートボール場については、平成元年に設置以来ゲートボールのみならず、グラウンドゴルフなどにも利用されているが、既存の施設を利用いただくことで、新たな整備については考えておりません。</li></ul>

## IV 芸術・文化振興の重点目標

### (1) 芸術文化活動の推進

#### ①-1 文化の杜交流館事業

【ご意見】	<ul style="list-style-type: none"><li>・年間を通じて企画され工夫されている。</li><li>・高校生等が学習している姿があり、若者が通う施設になりつつある。</li><li>・市民サポーターの活動が評価できる。縁の下の力として大事にしていきたい。</li><li>・唯一評価が目標を上回る事業であり、関係者に敬意を表すと同時に、今後にも期待したい。</li><li>・全体入館者数が目標を大きく上回っていることは素晴らしいことであり、市民にとっても励みになると思うので、達成状況の周知を図ることでより一層活用状況が充実していくことを願う。</li></ul>
-------	---

## (2) 文化財の保存・伝承

### ②-1 歴史民俗資料館事業

【ご意見】	・歴史民俗資料館の新企画や講演など評価できるので、今後に大きな期待をしたい。
-------	--

### ②-2 先人顕彰館事業

【ご意見】	・先人顕彰館の新企画等の取り組みが評価できる。
-------	-------------------------

### ③-1 後継者育成

【ご意見】	・保存・伝承に携わる方々の高齢化に早めに対応していかないと、途切れる心配がある。
【ご意見 に対し】	・情報交換会では、後継者育成に対する各保存団体や地域・学校の取組みについて、現状や工夫している点などの意見交換をしているほか、補助事業等の情報提供を行っている。また、毎年開催している民俗芸能フェスティバルは、広く市民に発表する場を設けることで保存団体の励みとするとともに、市内の伝統芸能を市民にPRしながら民俗芸能継承への理解につなげたいと考えている。

## (3) 世界文化遺産登録の推進

### ①-2 大湯環状列石魅力アップ事業

### ①-3 大湯環状列石史跡管理

【ご意見】	・もう少し目立つよう工夫できないか。 ・クマの出没に左右されずに見学できるようにならないか。
【ご意見 に対し】	・遺跡周辺では、景観の保全から看板等の設置は避けなければならないが、大湯ストーンサークル館周辺では桃太郎旗の設置など、目につくような工夫をしていく。 ・クマによる事故防止のために、電気柵の設置やパトロールによる監視、草刈りによる見通しの確保など対策を講じながら、電気柵の範囲内での見学を可としている。広大な史跡の範囲全てをカバーすることは難しい状況にあるが、引き続き、安全を確保しながら安心して見学できる環境を整備していく。

## 【その他の意見】

【ご意見】	・すべての項目の事業が「ほぼ目標どおり」推進され成果を上げていることに対し、総務学事課、学校職員、生涯学習課、スポーツ振興課の皆様をはじめ関係者の皆様に敬意を表す。
-------	--